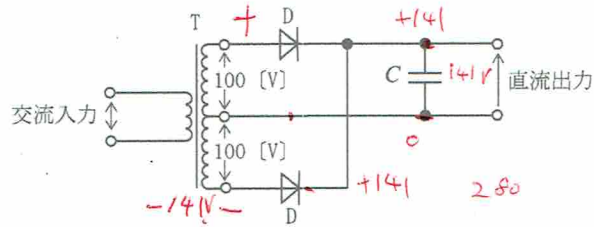
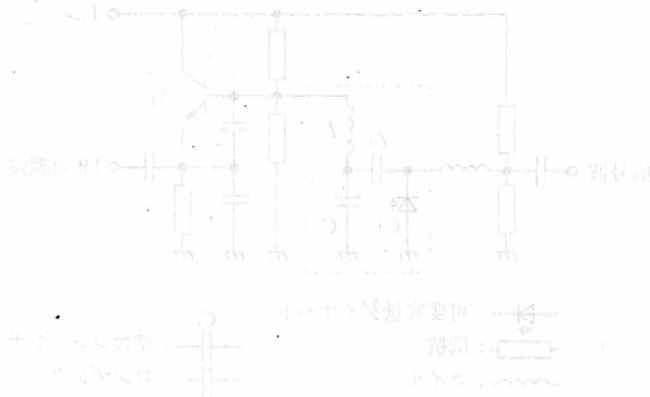


A-16 図に示す変圧器T、ダイオードD及びコンデンサCで構成される全波整流回路において、Tの二次側実効値電圧が各100[V]の単一正弦波であるとき、無負荷のときの各ダイオードDに印加される逆方向電圧の最大値として、最も近いものを下の番号から選べ。ただし、各ダイオードDの特性は同一とする。

- 1 100 [V]
- 2 140 [V]
- 3 200 [V]
- 4 280 [V]**
- 5 300 [V]



この変圧器は全波整流回路に接続され、二次側電圧は100[V]の単一正弦波である。コンデンサCは、整流回路の出力を平滑化する。無負荷のとき、コンデンサCは充電され、その電圧は変圧器の二次側電圧のピーク値に等しくなる。このとき、ダイオードDに印加される逆方向電圧は、変圧器の二次側電圧のピーク値の2倍となる。したがって、逆方向電圧の最大値は280[V]である。



変圧器の二次側電圧 [V]	コンデンサの電圧 [V]	ダイオードに印加される逆方向電圧の最大値 [V]
100	100	200
140	140	280
200	200	400
280	280	560
300	300	600

この変圧器は全波整流回路に接続され、二次側電圧は100[V]の単一正弦波である。コンデンサCは、整流回路の出力を平滑化する。無負荷のとき、コンデンサCは充電され、その電圧は変圧器の二次側電圧のピーク値に等しくなる。このとき、ダイオードDに印加される逆方向電圧は、変圧器の二次側電圧のピーク値の2倍となる。したがって、逆方向電圧の最大値は280[V]である。

この変圧器は全波整流回路に接続され、二次側電圧は100[V]の単一正弦波である。コンデンサCは、整流回路の出力を平滑化する。無負荷のとき、コンデンサCは充電され、その電圧は変圧器の二次側電圧のピーク値に等しくなる。このとき、ダイオードDに印加される逆方向電圧は、変圧器の二次側電圧のピーク値の2倍となる。したがって、逆方向電圧の最大値は280[V]である。

この変圧器は全波整流回路に接続され、二次側電圧は100[V]の単一正弦波である。コンデンサCは、整流回路の出力を平滑化する。無負荷のとき、コンデンサCは充電され、その電圧は変圧器の二次側電圧のピーク値に等しくなる。このとき、ダイオードDに印加される逆方向電圧は、変圧器の二次側電圧のピーク値の2倍となる。したがって、逆方向電圧の最大値は280[V]である。



この変圧器は全波整流回路に接続され、二次側電圧は100[V]の単一正弦波である。コンデンサCは、整流回路の出力を平滑化する。無負荷のとき、コンデンサCは充電され、その電圧は変圧器の二次側電圧のピーク値に等しくなる。このとき、ダイオードDに印加される逆方向電圧は、変圧器の二次側電圧のピーク値の2倍となる。したがって、逆方向電圧の最大値は280[V]である。

変圧器の二次側電圧 [V]	コンデンサの電圧 [V]	ダイオードに印加される逆方向電圧の最大値 [V]
100	100	200
140	140	280
200	200	400
280	280	560
300	300	600